

淀川水系 淀川左岸ブロック 流域の概要について（概要版）

流域の概要

水系名	流域面積 (km ²)	指定区間延長 (km)	関係市
あまのがわ 天野川	51.3	14.9	枚方市、交野市、四條畷市、生駒市
まえかわ 前川	4.5	0.7	交野市
きたがわ 北川	7.4	1.3	枚方市、交野市
とうだかわ 藤田川	2.7	1.0	枚方市
ほたにかわ 穂谷川	14.4	7.8	枚方市
ふなはしがわ 船橋川	8.7	5.2	枚方市

- 流域は枚方市、交野市、四條畷市、大東市、東大阪市、奈良県生駒市にまたがる。
 - 京阪奈丘陵と呼ばれる丘陵地帯と生駒山地からなり、宅地開発により山地まで都市化。
- 【下流域】
- ・枚方市役所、警察等が集中する官公庁街
 - ・淀川と並行して国道1号まで鉄道沿線に高い堤防に囲まれた市街地が広がる。
- 【中流域】
- ・河川沿いを中心に田畑が広がる。
 - ・「府営山田池公園」「大阪市立大学付属植物園」「名勝磐船峡」「府民の森 ほしだ園地」などが点在。
- 【上流域】
- ・金剛生駒紀泉国定公園、生駒山地を遠景とした田園風景。

自然環境

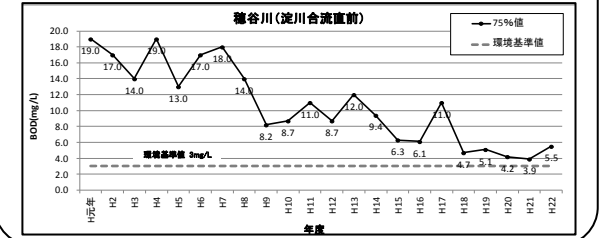
- 【植生】山間部は、アベマキ・コナラ群集の分布域が広がっているが、アカマツ植林、ゴルフ場・芝生も散在。平地部は、水田雑草群落も見られる。
- 【魚類】下流域はコイやギンボナ等が多く、中流域ではカワヨシノボリ、上流域はトウヨシノボリやカワヨシノボリが確認。水田や河川敷の水たまりを産卵場とし、ドジョウ等の貴重種も確認。
- 民間団体調査では、天野川でアユの遡上を確認。
- 【鳥類】下流域の流れが緩やかな淵に、サギ類等の多くの鳥類が確認。カワセミ、オオヨシキリの貴重種やカワウも確認。
- 【昆虫】タガメ、ナニワトンボなどの貴重種も確認

河川特性

- ＜下流域＞
- ・高い築堤河川が市街地を貫流し、淀川に流れ込む
 - ・比較的緩やかな傾斜の堤防で護岸が整備。一部では低水路や親水護岸が整備され、河川に近づきやすい
 - ・天野川は土砂が堆積傾向にあるが、穂谷川、船橋川は河床低下が著しい
- ＜中流域＞
- ・住宅地や田畑の間を蛇行しながら流下
 - ・比較的河幅も広く、堤防周辺も緑が多いことから府内でも街並みと河川の調和のとれた景観が形成。
 - ・天野川では磐船峡など山付を流下
- ＜上流域＞
- ・家屋が点在するものの、田畑など丘陵地を流れる。
 - ・一部の築堤区間を除き、掘込区間が続く。

河川利用と河川環境の現状と課題

- ・3水系とも、環境基準値（B型類 3mg/L）が指定
- ・近年、水質は改善傾向にあり、天野川は平成19年以降達成、穂谷川、船橋川については未達成。
- ・中、下流域で農業用取水が多い。（許可・慣行 25 件）
- ・市街化の進展に伴い流域内の農地が減少していることから、実態に即した取水量の把握と水利用が必要
- ・河川の流量は、近年渇水にまでは至っていないものの、農業用水としての取水により少ない。



治水の現状と課題

- ＜沿革＞
- 天野川
 - ・S42 年豪雨を契機に、全体計画策定、改修実施
 - ・S63 年に学研都市（田原地区）関連事業着手
 - 穂谷川
 - ・S47 年災害を契機に、全体計画策定、改修実施
 - ・S63 年に学研都市（氷室・津田地区）関連事業着手
 - 船橋川
 - ・S30 年代中頃計画策定、S50 年代前半にかけて改修実施
- ＜現状＞
- ・一部の河川・区間で 50 mm/h 程度の能力が不足
- ＜老朽化護岸＞
- ・S40 年代の整備が多く、護岸の老朽化が目立つ

河川名	水害発生年月日	時間雨量 (mm)	日雨量 (mm)	浸水面積 (ha)	浸水家屋 (戸)	備考
天野川	昭和42年7月北摂豪雨	41.5	121	不明	1908	枚方市他
	昭和54年6月～8月豪雨	18	94	1.1	90	
	昭和57年7月～8月豪雨、台風10号	54	134	2.0	—	四條畷市
	昭和58年8月豪雨	48	49	3.3	37	枚方市
	昭和59年6月～7月豪雨	41	52	0.1	4	交野市
穂谷川	昭和47年9月 台風24号	25	113	173	1540	枚方市
船橋川	記録なし	—	—	—	—	

空間利用

- ・府民協働で、堤防への桜植樹、高水敷等の芝生広場や親水公園を利用した河川愛護活動が実施。
- ・府民の森ほしだ園地や、川沿いにある交流拠点と連携した天野川水辺プラザ等が水辺空間として利用。
- ・地域の環境保全グループが積極的に清掃等、美化活動に取り組んでいる。



凡例

- 府県界
- 市町村界
- 河川
- 管理区間
- ブロック
- 流域界

京田辺市

船橋川（ふなはしがわ）下流
川幅約 50m、河床勾配 1/350~200
大部分が市街化した平野部を貫流し淀川に合流
河床低下が著しく、河床止めが目立つ

船橋川（ふなはしがわ）上流
川幅約 20~30m、河床勾配 1/150 程度
中、上流部には田畑や集合住宅が連なり、ブロック張りによる護岸
大部分が市街化した平野部を貫流し淀川に合流

穂谷川（ほたにかわ）上流
川幅約 20m、河床勾配 1/220 程度
沿川は自然巡回道路が整備されており、憩い空間として利用されている。

穂谷川（ほたにかわ）下流
川幅約 20~30m、河床勾配 1/340 程度
京阪牧野駅上流ではブロック積護岸の複断面形状
大部分が市街化した平野部を貫流し淀川に合流
沿川は自然巡回道路が整備されており、憩い空間として利用されている

天野川（あまのがわ）上流
川幅 約 10m、河床勾配 1/130 程度
ブロック積護岸で整備
背後地は農地、住宅地が点在

枚方市

天野川（あまのがわ）下流
川幅約 50m、河床勾配 1/820~620
ブロック積護岸で整備
市街化した平野部を貫流し、淀川へ合流

藤田川（とうだがわ）
川幅 約 10m、河床勾配 1/240
ブロック積護岸で整備
市街化した平野部を貫流し、天野川へ合流

北川（きたがわ）
川幅 約 15m、河床勾配 1/470~400
ブロック積護岸で整備
市街化した平野部を貫流し、天野川へ合流

前川（まえかわ）
川幅 約 10m、河床勾配 1/300~350
ブロック積護岸で整備
市街化した平野部を貫流し、天野川へ合流

淀川左岸ブロック